

# 生活文化スポーツ部経営方針（令和2年度）

（6月1日時点）



生活文化スポーツ部長 兼 オリンピック・パラリンピック担当部長  
産業振興担当部長

小林 達哉  
渡辺 直樹

## ◆部長職からひとこと

生活文化スポーツ部長 兼 オリンピック・パラリンピック担当部長 小林 達哉



新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大を受け、東京2020大会は1年延期となりました。スポーツ・文化・平和の祭典であるオリンピックとパラリンピックの開催は、安全な市民生活の確保が不可欠です。この難局を乗り切れるよう、地域との連携を深め、市民の安全安心の確保を第一に、各分野で今やるべき事業を確実に遂行することで成果を上げて参ります。

また、今後の市民活動の充実に向けて、様々な場面で一層の市民参加及び多様な主体との連携が図れるよう、実施を予定している取組のこれからの在り方について十分に議論し、地域に根差した諸活動が市内各地で展開され、豊かなまちづくりにつなげられるよう、部全体で取組を進めて参ります。

産業振興担当部長 渡辺 直樹



新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受けた市内事業者等の多面的な支援を継続して参ります。また、小康期を迎えた後には、商店会や商工会、観光協会など、多くの関係団体等と連携し、市内消費喚起やにぎわいの創出を目的とした事業の実施について、あらかじめ準備して参ります。

農政分野においては、令和元年度に策定した農業振興計画の着実な推進をはじめ、「特定生産緑地地区」指定に向けた取組を推進するなど、都市農業の振興、都市農地の保全・活用、多様な農体験の場づくり等、関係機関・団体とも連携して推進して参ります。

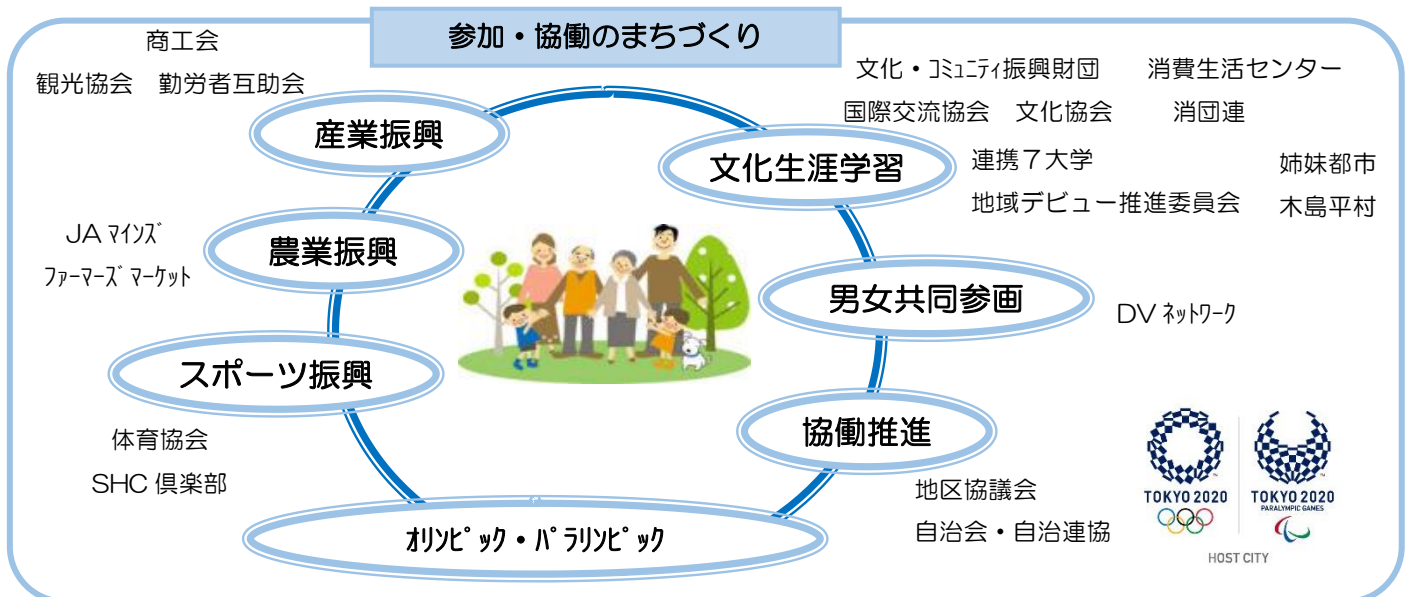
◆職員数 正規職員69人（うち管理職16人） 再任用職員4人（管理職0人）

### ◆予算（当初）

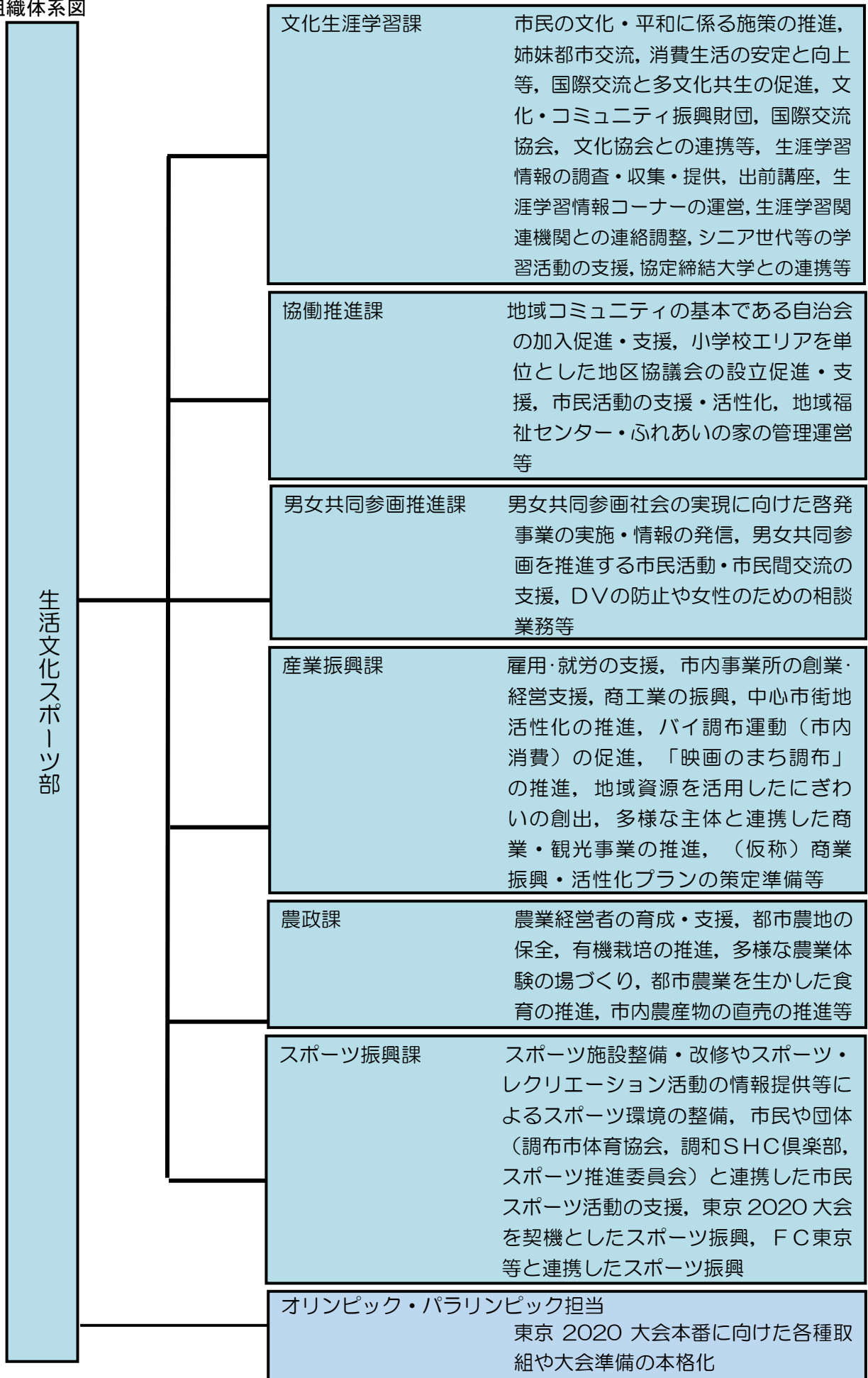
一般会計 歳入 2億7896万円 歳出 34億1711万6000円  
（職員人件費を除く）

### ◆予算（第1号）

一般会計 歳入 1400万円 歳出 1400万円



◆組織体系図



## ◆生活文化スポーツ部の現状と課題

### <現状>

- 生活文化スポーツ部は、基本計画に基づき、公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団や公益社団法人調布市体育協会、国際交流協会、文化協会、商工会、観光協会等の各団体と手を携えて、市民が健康で明るく活力に満ちた生活ができるよう市民生活に結びつく施策を推進しています。
- 各課が所管している文化施設やコミュニティ施設、スポーツ施設など40を超える公共施設について、市民が安全に安心して利用できるよう施設管理に努めています。
- 新型コロナウイルス感染症の拡大により、「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針（国）」や「新型コロナウイルス感染症を乗り越えるためのロードマップ（東京都）」等を踏まえ、各課が所管している公共施設の利用や多くの各種事業、イベント等における適切な対応及び状況に応じた効果的な事業展開が求められています。

### <課題>

- 2019年、2020年及びその先の2020年代を見据え、市民の生活に関わる部内の各種施策、事務事業を推進するため、様々な団体との協働、協力と庁内各部署との緊密な連携が必要です。
- 指定管理者制度を導入しているグリーンホール、文化会館たづくり、せんがわ劇場、総合体育館、各ふれあいの家、市民プラザあくろすについては、市民ニーズに適切に対応するとともに、効果的、効率的に制度を活用できるよう評価・検証していくことが必要です。
- 施設の管理運営に当たっては、施設・設備の老朽化や経年劣化等を踏まえ、計画的な維持保全に取り組むとともに、利用者の声や地域の特性を踏まえた創意工夫が必要です。
- 新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向け、市民の安全確保を第一として、市民の生活様式の変化に応じて、市民や事業者等のニーズを的確に捉えながら、市内の活気やにぎわいを創出する文化・芸術・スポーツをはじめとした各種取組を効果的に展開していくことが必要です。
- 新型コロナウイルス感染症により、市内事業者の経営は大きなマイナス影響を受けています。現下の状況を踏まえ、国や東京都の動向を注視しつつ、引き続き商工会をはじめとする関係団体との一層の連携を図りながら、市内事業者の支援、市内消費喚起に取り組んでいく必要があります。

## ◆生活文化スポーツ部経営方針

### 「情報の発信と共有による効果的・効率的な連携」

生活文化スポーツ部が担う文化振興・生涯学習・協働推進・男女共同参画・産業振興・農業振興・スポーツ振興の個々のミッションについて、市民・団体・企業等の連携、民間ノウハウの積極的な活用など事務・業務の改善を図りつつ、最少の経費で最大の効果を上げられるよう取り組みます。

引き続き、基本計画に掲げる11の施策及び25の基本計画事業を着実に推進するとともに、「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言」に基づく取組を積極的に推進し、横断的な連携を強化することで、市民主体の芸術文化・スポーツの振興、調布のまちの魅力の向上・発信に努めます。

### 「指定管理者制度の活用」

たづくり、グリーンホール、総合体育館、ふれあいの家については、引き続き、適切な維持保全、安全な施設運営、魅力ある事業実施について、指定管理者の指導監督に努めます。また、調布市文化・コミュニティ振興財団が指定管理者であるたづくり、グリーンホール、せんがわ劇場について、それぞれの館の特徴を生かした事業への取組とともに、3館の連携による効果的な事

業の推進を図ります。

#### 「老朽化等を踏まえた適切な施設管理」

市民の文化、スポーツ、コミュニティ施設などの公共施設については、利用者の声や地域の特性を踏まえ、安全に安心して利用できる施設となるよう経年劣化への対応と施設改善に努めるとともに、公共施設等マネジメント推進検討会議などの庁内議論を踏まえ、個別施設の方向性の策定等に反映させていきます。

### ◆生活文化スポーツ部の横断的連携による施策の推進

#### ・台風第19号への対応を踏まえた災害対応

台風19号への対応を踏まえ、グリーンホール及び文化会館たづくりが避難所として使用される際に必要となる物品及び飲食料品等の防災備蓄品の確保方法や人員体制、災害対応時の施設使用における配慮事項等について、庁内各部署や関係団体と連携しながら、早期に課題を整理し、今後の対応の検討を進めます。

また、地区協議会等地域の方々への情報伝達について、そのタイミング・手段等が確立されておらず、また、避難所開設に当たっても、地域の方々がどのような役割を担い、どのように協力するのが明確でなかったことから、地区協議会連絡会等で意見交換を行い、集約・検討する中で、庁内横断的な連携を図り、実効性のある体制及び役割分担の確立を目指します。

施設の休館や業務縮小等を必要とする災害対応に当たっては、統一的な考えによる判断や市民への迅速な情報提供ができるよう、各部との情報共有や連携の強化を図ります。また、各施設の指定管理者や関係団体との円滑な連携により、迅速な災害対応及び被災状況の的確な把握を行うとともに、災害発生から復旧・事業再開までの市民への情報提供を効果的にを行います。

#### ・東京2020大会の開催延期に伴う対応（パラハートちょうふ関連を含む）

東京2020大会の開催延期に伴い、令和元年度末に予定していた調布駅前広場や市庁舎のシティドレッシングは延期しました。また、カウントダウンイベントをはじめ、大会に向けたボランティアや市民向けの説明会など、大会前に行うことを予定していたほぼ全ての事業が延期となっています。開催延期後の新たな大会日程において、今後決定される競技日程や聖火リレーの詳細等のほか、新型コロナウイルス感染症の感染状況を考慮したうえで、庁内各部署や関係団体と連携し、延期後の詳細なスケジュールに対応した各種取組を進めます。

また、令和元年度にパラアート展の関連ワークショップにおいて、福祉作業所メンバーとイベントに来場した子ども達が合同で制作したアート作品のデザインを活用して、市の「パラハートちょうふ〜つなげよう、ひろげよう、共に生きるまち〜」の取組を効果的に発信します。

#### ・新型コロナウイルス感染症対策に関する対応

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、所管する文化・コミュニティ・スポーツ施設の利用再開に向けた対応のほか、市及び関係団体の各種イベントの中止や延期、オンライン配信などの開催手法の変更による代替事業の検討など、庁内各部署及び関係団体との連携の下、適切な対応を図ります。

国の緊急事態宣言を受け、東京都の緊急事態措置における外出自粛を踏まえ、FC東京等と連携した市民向けメッセージの発信や動画配信をはじめ、自宅でも取り組める各種活動を市ホームページ等で情報発信するなど、調布“STAY HOME”プロジェクトに取り組みました。

感染拡大に伴う市民や市内事業者への影響を的確に把握し、商工会をはじめ関係団体と連携した市内のにぎわい創出及び消費喚起に向けた取組など、社会状況及びニーズを捉え効果的な対応を図ります。

#### ・オリンピック・パラリンピックに向けた取組の推進

令和2年7月24日に開幕する予定であった東京2020大会は、延期となりましたが、令

和3年7月23日から開幕となる新たな日程が決定したところです。今後、競技日程や会場、聖火リレーなど詳細が決定されることとなりますが、東京2020大会開催前年として、引き続き「オール調布」での取組を推進します。「オール調布」体制の核となる全体会議をはじめ、推進本部、推進会議、おもてなしプロジェクトチーム等の庁内外の連携組織による情報共有の一層の充実や情報発信の強化を図り、市民の参加機会の創出を図ります。

また、多摩26市で構成する東京都市オリンピック・パラリンピック連絡協議会などを活用し、広域的な連携による多摩地域全体の振興にもつながる取組を実践します。

#### ・多様な主体と連携した市内商業の活性化に向けた取組と新たなプランの策定準備

京王電鉄やイオンエンターテイメントを含む各関係企業、商工会、商店会、観光協会と連携し、市内商業の活性化に取り組みます。また、こうした連携を強化しながら、中心市街地をはじめとするにぎわいを市内商業の振興と商店街の活性化につなげるべく、中心市街地活性化プランに代わる「(仮称)商業振興・活性化プラン」の策定準備にも取り組みます。

#### ・「映画のまち調布」の推進

シアタス調布を含む映画・映像関連企業や団体と密に連携しながら、「映画のまち調布 シネマフェスティバル」をはじめとした映画関連事業を実施し、「映画のまち調布」の推進につながる施策の更なる充実を図ります。

また、ロケツーリズムの推進に向け、他自治体との広域的な連携の下、フィルムコミッション事業に積極的に取り組みます。

#### ・グリーンホールに関する整備の検討

築40年以上が経過しているグリーンホールについては、行革プラン2019に基づき、今後の更新を見据えて、施設利用者や広く市民と情報共有を図りながら、市の整備に関する考え方を取りまとめます。また、施設機能、規模、配置等に関するプラン案の作成や整備手法、コストに関するシミュレーション等を踏まえたより具体的な検討に取り組みます。

#### ・DV（ドメスティック・バイオレンス）被害者の情報管理の徹底

DV被害者の個人情報保護のため、DV被害者と接する可能性のある窓口関係部署と連携して取り組みます。

#### ・男女共同参画推進プラン モデル事業所の推進

女性活躍推進法の施行を踏まえ、平成29年3月に改訂した男女共同参画推進プラン（第4次）改訂版に基づき、これまで以上に政策・意思決定に女性が参画することを目指し、庁内各課に働きかけるとともに、男女ともに働きやすい職場とするよう、人事課と連携した取組を推進していきます。

#### ・都市農地の保全・活用

都市農地については、改正生産緑地法や改正都市緑地法等を踏まえ、環境部、都市整備部と連携し、農地の保全を図るとともに、防災機能の強化として災害時に誰でも使える防災兼用農業井戸の整備等を進める都市農地保全支援プロジェクト事業の実施、農業経営の支援や市民農園の運営等により、農地の持つ多面的機能をより発揮させる活用に取り組みます。

#### ・障害者スポーツの振興

東京2020大会、とりわけパラリンピックを契機としたレガシーの創出に向けた取組を推進するため、競技団体とも連携した障害者スポーツ体験会の実施等、障害の有無にかかわらず、誰もがスポーツに親しむ機会を創出することで、スポーツを通じた障害理解の促進や共生社会の一層の充実に向けた取組を進めます。

取組の推進に当たっては、障害福祉課や東京都、公益社団法人東京都障害者スポーツ協会等の関係団体と連携し、スポーツ分野と福祉分野の関係者による「調布市障害者スポーツの振興における協議体」を活用し、共生社会の実現に向けた課題整理や情報の提供・共有を行います。

## ◆各課の基本的な目標・方針等

### オリンピック・パラリンピック担当

#### ・「2020年に向けた調布市アクション&レガシープラン」事業の推進

「2020年に向けた調布市の取組方針」の具現化を図り、大会の準備段階から開催後にわたり長期的・継続的に東京2020大会により享受できる有形・無形のレガシーを創出し、調布のまちの更なる発展と多摩地域全体の振興につなげていきます。

#### ・延期後の大会に向けた「オール調布」での取組

大会日程の延期により、令和2年度は東京2020大会の開催前年となりましたが、大会本番に向けた「オール調布」での取組を推進します。今年度は体制を強化し、ラグビーワールドカップの経験を活かし、東京2020大会へ集中した体制により、全体会議をはじめとした「オール調布」体制の充実に加え、おもてなしボランティア養成事業や聖火リレーサポーターの募集、市内高校に協力を依頼する自転車ロードレースコースサポーター等、大会へ向けた市の取組をボランティアとして「ささえる」ための市民参加機会の確保を見据えた取組など、大会の開催に向けた取組を推進します。また、東京都と連携した市立小・中学校の全児童・生徒の学校観戦や市民観戦事業の実施など、大会を「みる」機会の確保に努めます。

また、大会期間中のコミュニティライブサイトの展開においては、ラグビーワールドカップの経験を活かし、多くの市内団体・事業者と連携した取組となるよう、改めて準備を進めます。

レガシーを見据えた取組としては、令和元年度よりパラリンピックレガシーを見据えた多摩26市3町の連携事業である「東京都市町村ボッチャ大会」の開催を行っていますが、本大会はパラリンピックが多摩地域で行われることを契機とした広域連携事業として、令和2年度以降も継続可能なスキームを各市と連携しながら構築していきます。また、相互協力協定を締結した一般社団法人日本車いすバスケットボール連盟をはじめとする各種競技団体と連携した取組を推進します。

「オール調布」での取組を通じて、「調布市アクション&レガシープラン」に掲げるまちづくりへの多面的効果をもたらす有形・無形のレガシーの創出につなげていきます。

### 文化生涯学習課

#### ・「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり」の推進及びオリンピック・パラリンピックを見据えた文化プログラムの展開

「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言」に基づき、市民が身近に芸術文化に親しみ、自ら活動できるよう、芸術鑑賞事業の実施や市民の作品を発表する機会を提供するなど、宣言に沿った事業を推進するとともに、市民団体等に宣言シンボルマークの活用をお願いするなど、宣言の周知と更なる普及啓発を図ります。

また、オリンピック・パラリンピック開催に向けた取組としては、芸術文化における共生社会の実現を目指し、障害者理解の更なる促進を図ることを目的に平成29年度から継続して「パラアート展」を開催しています。本アート展の一環として、令和元年度に実施したワークショップで制作した作品を活用し、共生社会の重要性を発信する「パラハートちょうふ」の取組の更なる促進を図ります。ホストタウンとしてのサウジアラビア王国については、市民にアラビア文化を紹介する「サウジアラビア展」を開催するほか、サウジアラビアの留学生との交流事業等を通じて、更なる交流の促進を図ります。そのほか、文化協会をはじめとする市民団体や文化・コミュニティ振興財団など多様な主体との連携により、芸術文化への市民の関心や活動の拡大、次世代のアーティストの育成、伝統文化の再認識と継承につながるよう、まちづくり宣言に基づく各種事業を展開します。

#### ・平和祈念事業、国際交流と多文化共生の促進

戦争の悲しさや平和の尊さを次世代へ伝えていくため、様々な平和事業を実施し、広く市民へ平和について考える機会を提供します。また、本年度は戦後75年を迎えるとともに、「調

布市国際交流平和都市宣言」30周年の節目となる年であることから、「国際交流平和基金」を活用し、国際交流協会とも連携を図りながら、幅広い世代に向けた宣言及び基金の普及啓発に取り組みます。

#### • 姉妹都市木島平村との交流

長野県木島平村と姉妹都市盟約を締結して、本年度で35周年を迎えます。引き続き、より多くの市民に木島平村の魅力を伝えられるよう事業展開を図るとともに、木島平村民にも調布市の特色や魅力を知っていただき、両市村民の更なる交流の発展につながるような盟約記念事業を実施します。

#### • 生涯学習のまちづくり

「調布市生涯学習振興プラン」に基づく事業を展開するほか、現行のプラン期間終了後を見据え、第13期調布市生涯学習推進協議会の立ち上げを含め、今後の生涯学習振興の方針等についての検討や課題整理を行います。

生涯学習情報コーナーでの情報提供のほか、市内公共施設や民間商業施設、その他、民間の取組も含めた市内各種イベントなどにおいて、生涯学習まちづくり推進員のアウトリーチ（出張相談）を行うなど、積極的な情報発信を行います。また、シニア世代を主な対象として、サークル体験事業や地域デビュー事業を市民との協働により実施するほか、生涯学習出前講座をはじめ多様な学習機会や生涯学習活動のきっかけづくりに努めます。

#### • 相互友好協力協定締結大学との連携

協力関係にある7大学（市内4校、市外3校）と双方にとってメリットある市民生活の課題解決に資する協力事業の実施に向け調整を進めるとともに、各大学の魅力を市民へ伝え、市民の生涯学習にもつながるよう、引き続き連携の強化を図ります。

#### • 公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団との連携及び文化施設の維持管理

文化会館たづくり、グリーンホール及びせんがわ劇場は、指定管理者である（公財）調布市文化・コミュニティ振興財団による管理・運営を行っていることから、それぞれの館の特徴を生かすとともに、3館の連携による効果的な事業の推進を図ります。また、引き続き、適切な維持保全、安全な施設運営、魅力ある事業展開などの視点から、市との連携強化の下、指定管理者の指導監督に努めます。

グリーンホールについては、今後の更新を見据えて、施設利用者をはじめ、広く市民との情報共有を図りながら、市の整備に関する考え方を取りまとめます。

#### • 消費者行政について

近年、全国の消費生活センターに寄せられる相談内容は、相談者の年代を問わず、複雑で高度化し、多様化している傾向にあることから、調布市消費生活センターでは、市民の消費生活相談に適切に対応するため、専門相談員が被害解決に向けた助言、あっせん等を行います。

また、市民が安全で安心な消費生活を送ることができるよう、消費者被害の未然防止及び拡大防止に向けた効果的な情報発信を行い、消費者トラブル等に関する啓発事業の充実を図ります。

さらに、消費者教育推進法に基づき、出前授業、消費者講座、イベント等において消費者教育を実施するとともに、他部署との連携を図りより一層、消費者の意識啓発に努めます。

#### 協働推進課

#### • 地域コミュニティの活性化に向けた支援

自治会の加入促進と活動支援のため、平成28年度から自治会連合協議会と協働で実施してきた「自治会キャンペーン」を発展させるとともに、ニーズや状況を適切に把握し、地域コミュニティの活性化に向け効果的な支援をしていきます。

併せて、地域住民の連帯感を高めるためネットワーク組織である地区協議会の運営を支援していきます。未設立地域については地域の方との接点を継続しつつ、設立に向けた万全の支援

を行います。また、既設地区協議会が抱える課題について、関連部署と連携し調整するとともに、地区協議会同士の横の連携を深化させるなど、可能な支援を行います。

#### ・地域コミュニティ活動の拠点整備

地域福祉センター及びふれあいの家の維持管理と計画的な改修工事等を行うとともに、地域コミュニティ活動の拠点となるよう、引き続き地域の要望を把握し環境整備に努めていきます。

併せて、コミュニティ施設における運営上の課題解決に向け、今後における施設の在り方、方向性並びに一層の利活用の促進について検討していきます。

#### ・コミュニティ活動への参加の促進

地域コミュニティサイト「ちょみっと」や地域活動情報紙「じょいなす」などにより、一人でも多くの方がコミュニティ活動に関心を持ち、気軽に活動に参加できるよう情報提供に努めます。

また、市民活動支援センターについては、委託事業者である社会福祉協議会と協働して、市民活動、地域活動を行うための拠点としての運営に取り組みます。

#### ・市民参加・協働の仕組みづくりの着実な実践

まち活フェスタ、えんがわフェスタ等のイベント開催については、市民参加・協働の着実な実践を積み重ねて市民と協働で実施します。

また、開催そのものが最終目的となることなく、イベントが地域活動や市民活動を担う新たな人材の発掘と交流の場となり、地域の活性化につながるよう努めます。

### 男女共同参画推進課

#### ・男女共同参画推進プラン（第4次）改訂版に基づく取組の推進

調布市男女共同参画推進プラン（第4次）改訂版における施策の実施状況を把握し、着実な取組を推進します。

#### ・次期男女共同参画推進プランの策定に向けた検討

令和4年度以降の次期男女共同参画推進プランの策定に向けた検討のため、市民や市内事業所への意識調査等を実施します。

#### ・配偶者暴力及びデートDVの防止及び被害者支援

親密な関係にあるパートナーからの暴力の未然防止のための啓発事業を、児童虐待防止のキャンペーンとも連携するなど、庁内外の関連機関と協力して行います。

また、市立中学校の生徒を対象として、デートDV防止についての出前講座を実施します。

#### ・女性のための相談事業の実施

相談事業において、生き方、働く女性の人生、法律、健康、仕事についての来所相談及び電話相談を引き続き実施します。また、参加者が共通のテーマで話すことで悩みを解決する糸口を見つけるグループ相談（ほっとサロン・しゃいくはんず）を実施します。

また、相談事業とリンクした講座を開催するなど、利用者ニーズに沿った事業を展開します。

#### ・啓発事業の実施と情報の発信

市民による実行委員との共催により、男女共同参画推進フォーラムを実施し、市民交流を推進するとともに、男女共同参画に向けた様々な講座・展示等により啓発を行います。その他の講座、講演会等については、社会状況を捉えたテーマとし、対象に合わせた開催時間、場所、保育などに配慮した実施に努めます。

#### ・女性活躍推進法への対応

女性活躍推進法に基づく協議会での議論を踏まえ、地域で働く女性を紹介する事業を引き続き実施します。また、庁内における審議会・委員会の女性参画率の向上、女性職員の昇任意欲の向上、ワークライフバランス等の推進について人事課と連携して取り組みます。



## ・施設管理

市民プラザあくろすは開館から15年が経過したことから、施設の老朽化に迅速に対応するため、指定管理者と協力して安心安全の施設運営に努めます。また、施設を活用した指定管理者による自主事業を実施するほか、活動団体による作品の展示、季節にちなんだ装飾等により、市民に親しまれる施設運営を指定管理者とともにを行います。

## 産業振興課

### ・雇用・就労の支援

個々のライフステージに応じた切れ目ない雇用・就労を支援するため、調布国領しごと情報広場において、ハローワーク府中と連携した様々な求人情報の提供や職業相談、職業紹介、就労支援セミナーを実施するほか、地域活性化包括連携協定の活用や若者、高齢者、女性及び障害者の関係機関・関係部署とも連携し、取組を進めます。

また、「ちょうふ若者サポートステーション」においても、関係機関・関連部署と連携を図り、仕事に対する不安や悩みを抱えている若者の職業的自立・就労を支援します。

### ・産業振興に向けた商業活性化の推進

地域経済の復興・活性化につなげるため、商工会や商店会等と連携し、効果的な事業展開を図ります。

商業活性化に向けた商店会支援については、商店会が実施するイベント事業や商店会の環境整備を支援するなど、魅力ある商店街づくりを引き続き支援します。

バイ調布運動（市内消費）の促進については、商工会と連携し、市内産業の振興に資する事業に取り組むとともに、商工会の商業・工業・建設業・サービス業などの各部会活動を支援します。また、市内消費喚起策として実施するスクラッチカード事業を支援します。

### ・「(仮称) 商業振興・活性化プラン」の策定に向けた取組

これまで、中心市街地活性化プランに基づく、多様な主体との連携による取組を通じて創出した中心市街地をはじめとするにぎわいを市内商業の振興と商店街の活性化につなげるべく、新型コロナウイルス感染症による影響及び対策を踏まえながら、中心市街地活性化プランに代わる新たな計画の策定準備に取り組みます。

### ・市内事業所への経営支援・新たな創業への支援

市内の中小企業・小規模事業者の振興と地域経済の活性化を図るため、地域金融機関などの民間ノウハウを積極的に活用した経営相談や各種セミナーの開催、販路拡大のための見本市等の出展、課題である事業承継について、商工会及び関係機関と連携して支援します。なお、中小企業事業資金融資あっせんについては、東京都と連携し、小口零細企業保証制度の対象者に対する信用保証料の全額補助を継続し、中小事業者の負担軽減を図ります。

市内での新たな創業を促進し地域経済の活性化につなげるため、産業労働支援センターでは、専門の相談員による創業相談や創業セミナー・講演会、女性及びシニア向けの創業相談会、スモールオフィスの貸出し、空き店舗等を活用した創業チャレンジ支援事業などを実施します。また、地域資源を生かしながら地域課題の解決を目指すコミュニティビジネスの育成・支援は関係機関との連携により取り組みます。

### ・新型コロナウイルス感染症に関する中小企業・小規模事業者支援

新型コロナウイルス感染症の流行により、影響を受ける、または、その恐れがある中小企業・小規模事業者を対象とした相談窓口を開設し、新型コロナウイルス感染症への対応を図るため、既存の調布市中小企業事業資金融資あっせん制度を拡充し、信用保証料の全額補助及び全額利子補給（当初3年間）を行うとともに、国のセーフティネット保証制度への適切な誘導など、中小企業・小規模事業者を支援します。

### ・魅力ある観光の振興

「映画のまち調布の推進」、「地域資源を活用したにぎわいの創出」、「多様な主体と連携した観光事業の推進」を柱として、新型コロナウイルス感染症による影響を踏まえながら、にぎわ

いの創出に向けた効果的な観光振興を推進します。

「映画のまち調布」の推進については、市内映画・映像関連企業・市民団体との連携を図りながら、映画・映像を「つくる」、「楽しむ」、「学ぶ」をテーマに、調布市独自の事業を展開し、引き続き、広く市民に“映画”に親しんでもらう機会を創出するとともに、「映画のまち調布」としての魅力の発信を行います。

フィルムコミッション事業については、東京都市長会の助成金を活用し、多摩地域の他自治体（狛江市・日の出町）と連携したロケツーリズムを推進するため、3年度目となる今年度は、PRツールとなるロケ地マップの作成や、映像制作者向けの媒体への広告掲載を行い、効果的な情報発信を行います。

また、観光協会とも密な連携を図り、地域経済の復興と観光振興につながる取組の一環として、観光協会事業を積極的に支援します。

#### ・「水木マンガの生まれた街」の取組

水木作品の魅力の後世に伝えるための効果的な取組の検討を引き続き実施するとともに、平成28年度から実施している名誉市民水木しげるさんの功績を讃えた「ゲゲゲ忌」を、(株)水木プロダクションをはじめとする関係企業・団体、商店会、庁内及び教育委員会とも連携して取り組みます。

### 農政課

#### ・農業振興計画に基づく取組の推進

令和元年度に策定した農業振興計画に基づき、「いきいきとした農業経営」、「農のある地域づくり」、「農地の保全・活用」の3つの柱により、多様な主体と連携しながら、各取組の円滑な推進を図ります。

#### ・農業経営の支援

認定農業者などの農業経営に意欲ある農業者が農業を継続できるよう、引き続き、都市農業育成対策事業による支援に加え、都市農地保全支援プロジェクトや都市農業活性化支援事業等による農地の保全・活用の取組を通して農業経営を支援します。

#### ・有機栽培の推進

市民ニーズの高い安全・安心な農産物の品質向上と供給を図るため、有機質肥料の支給による有機栽培の促進などを通じて、農業者の取組を支援します。

#### ・市内農産物の直売の促進

より多くの市民が市内で生産された安全・安心で新鮮な農産物を手に入りやすくするとともに、市内における消費の拡大を図るため、JAや地元商店街をはじめとする関係機関と連携し市内農産物の直売をより一層促進します。

#### ・多様な農業体験の場づくり

市民が農家の指導を受けながら農作業を楽しむことができる体験ファームの支援や、農作業を通じて自然に親しみながら生産の喜びを味わうことができる市民農園の確保など、市民が農業とふれあえる機会づくりを推進します。

#### ・都市農業を生かした食育の推進

農作物の生産から収穫までの過程や、農業の大切さを体感してもらう学童農園やふれあい体験農園の実施、調布産農産物を取り入れた学校給食の実施や消費者と生産者の交流を通じた食育の推進など、都市農業を生かした食育を推進します。

#### ・都市農地保全支援プロジェクトの推進

都市農地保全を推進するために、防災や環境保全など農地の多面的機能を一層発揮させるための施設整備など、農地保全に意欲的に取り組む農業者及び農業団体が行う農地保全の取組に対して、ソフト・ハード両面から支援します。

#### ・都市農地の保全

都市農地を保全していくため生産緑地地区の追加指定と併せて、特定生産緑地の指定に向け

た取組を進めるとともに、農業経営の支援や市民農園・農業体験ファーム等に取り組むことにより、都市農地の保全・活用に努めます。

・ **里山の保全と活用**

農地保全だけでなく、市内でも唯一里山として残されている地域について、自然環境の保全など総合的な観点から、市民との協働による保全・活用を図ります。

・ **推進体制づくり**

都市農業の振興を推進するため、農業者、JAや地元商店街をはじめとする農業関係機関・団体、農業委員会、市立小学校など、多様な主体と連携した推進体制づくりを進めます。

**スポーツ振興課**

・ **スポーツ施設の整備**

市民が安全・安心に施設を利用できるよう、バリアフリーに配慮し、利用者の声を生かした計画的なスポーツ施設の改修や維持保全を図ります。また、熱中症対策として、総合体育館及び西調布体育館の空調設備設置工事を実施します。

総合体育館は、公益社団法人調布市体育協会の指定管理期間第4期の2年目となります。指定管理期間が10年となったことから、これまで以上に市の施策との連動及び市との連携強化を図り、引き続き、適切な維持保全、安全な施設運営、魅力ある事業実施について指定管理者の指導監督に努めます。

・ **だれもがスポーツに参加できる機会の充実**

より多くの市民が日頃からスポーツに触れ合う機会を提供できるよう、世代や能力に応じたスポーツを始めるためのきっかけづくりや、スポーツをする・みる・ささえるという観点から、スポーツ・レクリエーションに参加できる機会の充実を目指します。

・ **東京2020大会を契機としたスポーツ振興に向けた関連団体との連携**

公益社団法人調布市体育協会、NPO法人調和SHC倶楽部、調布市スポーツ推進委員会及び公益社団法人東京都障害者スポーツ協会や東京都のほか、相互協力協定を締結した一般社団法人日本車いすバスケットボール連盟などの競技団体や福祉分野等スポーツ分野以外の関係団体と連携し、障害のある・なしにかかわらず、子どもから高齢者まで誰もがスポーツに親しめるようスポーツの振興に努めます。

・ **東京2020大会開催に向けた情報共有の推進**

東京都や組織委員会との連絡体制をより強化し、大会開催における施設の利用制限等の情報の共有を推進するとともに、施設利用者への情報提供の充実に努めます。

・ **FC東京等との連携の推進**

市民がスポーツに親しむ機会を創出するため、FC東京と庁内関係部署との情報交換会を引き続き定期的に開催することで、FC東京とのパートナーシップに基づく連携事業を様々な分野で更に充実させていくなど、スポーツ分野のみならず、青少年の健全育成、福祉や地域振興等のまちづくりを協働で推進します。

また、NTT東日本バドミントン部との共催事業の実施や、そのほか各種スポーツ団体やプロスポーツチーム等とも連携・協力して参ります。

◆ **主要な事務事業と到達目標**

事業の名称と概要	年度末到達目標
<p>1 <b>東京2020大会に向けた取組(オリンピック・パラリンピック担当)</b>  <b>事業予算：1億729万4000円 &lt;基本計画事業 行革P [その他]&gt;</b>                      東京2020大会の延期を受け、実施予定であったカウントダウンイベントや、大会期間中の市内団体・事業者、東京都と連携したコミュニティライブサイトの展開、シティドレッシング、学校観戦や市民観戦事</p>	<p>・ 延期後の大会日程や聖火リレーのスケジュールを踏まえ、2021年の大会本番に向けた準備を進</p>

<p>業の展開,おもてなしボランティア養成事業など,延期後の大会日程を踏まえながら,最も効果的な展開が可能となるよう検討を進めます。また,多摩地域市町村によるパラリンピック競技の広域連携事業やパラリンピック競技団体との連携事業など,大会後のレガシー創出を意識した各種取組を実施します。</p>	<p>めるとともに,各事業の実施に当たっては,最も効果的な展開が可能となるよう検討します。</p>
<p><b>2 聖火リレーに向けた取組(オリンピック・パラリンピック担当)</b>  <b>事業予算:2620万6000円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</b></p> <p>東京2020大会の延期に伴い,3月26日から予定されていた日本国内の聖火リレーもスタートせず,今後の対応を検討することとなりました。今後,延期後の東京2020大会においても,これまでに決定した枠組みが尊重され,オリンピック・パラリンピック聖火リレーが調布市内で行われることを前提に,準備を進めます。</p> <p>具体的には,多くの市民にお知らせするため,広く市全域への周知を行うとともに,市民ボランティアによる運営への参加や関連イベントへの障害福祉団体をはじめとする市内団体の参加,子どもたちをはじめとする市民の観戦機会の確保など,多くの市民・市内団体が参加したオール調布での聖火リレーの実施となるよう検討します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>延期後の日程においても市内を走行する聖火リレーに多くの市民の方が参加できるよう,東京都や組織委員会と連携しながら準備を進めます。</li> </ul>
<p><b>3 芸術・文化の振興(文化生涯学習課)</b>  <b>事業予算:13億3621万7000円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</b></p> <p>市民が芸術・文化と触れる機会の提供と自ら芸術・文化活動を行える環境を整備するため,音楽や演劇など様々な事業を実施します。</p> <p>安全に施設を利用していただくため,文化会館たづくり,グリーンホール及びせんがわ劇場の維持保全のための施設整備を行います。</p> <p>それぞれの館の特徴を生かした事業への取組と3館の連携による効果的な事業の推進を図るとともに,引き続き,適切な維持保全,安全な施設運営,魅力ある事業展開を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設維持保全工事等を計画的に実施します。</li> <li>グリーンホールについて市民と情報共有を図りながら,広く意見を聴取し,整備に関する考え方を取りまとめます。</li> <li>パラアート展をはじめ,障害の有無や年齢にかかわらず,芸術文化に触れることのできる機会を創出します。</li> </ul>
<p><b>4 平和・国際交流施策の推進(文化生涯学習課)</b>  <b>事業予算:2960万4000円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</b></p> <p>戦争体験者の高齢化が進行する中,若い世代へ戦争体験を引き継いでいくことが重要です。令和元年度に実施した広島平和派遣事業の報告書をはじめ,ピースメッセンジャーの学びを広く市民へ届けるとともに,引き続き,原爆展の開催や戦争体験映像記録の作製等により,市民に戦争の悲惨さや平和の尊さについて考える機会を提供します。</p> <p>国際交流の促進においては,世界の様々な文化や人々との相互の認識と理解を深め,共に暮らしていける地域社会づくりを促進するため,国際交流協会が行う交流事業をはじめ,ホストタウンとなっているサウジアラビアとの交流を促進します。</p> <p>また,今年度は国際交流平和都市宣言30周年の節目の年であることから,国際交流協会とも連携しながら宣言の普及啓発を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>若い世代に戦争体験談を聞く機会を提供するため,講演会及び映像記録事業などを実施します。</li> <li>国際交流協会とも連携し,国際交流平和都市宣言30周年を記念し,宣言の普及啓発に取り組みます。</li> </ul>
<p><b>5 消費生活の安定と向上(文化生涯学習課)</b>  <b>事業予算:1358万9000円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</b></p> <p>市民が安心して消費生活が送れるよう,消費者トラブルの情報提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>着ぐるみのキャラクター「チー</li> </ul>

<p>や、消費生活相談員のスキル向上を図るとともに、弁護士を配置し消費者トラブルの解決の支援を行います。</p> <p>複雑かつ多様化する消費者被害を防ぐためには、消費者への啓発が重要であることから、様々な媒体を利用して消費生活センターのPRを図るとともに、架空請求や振り込み詐欺などの悪質商法等に対して、タイムリーな情報提供と注意喚起を行い、消費者被害の防止につなげます。</p> <p>また、消費者教育推進法に基づき、各種消費者講座の開催をはじめ、教育機関や地域で開催する会合等に出向くなど積極的な出前講座、出前授業を実施します。</p>	<p>坊」を活用し、消費者トラブルの注意喚起を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各年代に応じた消費生活教育教材と資料等を作成し、対象者へ提供します。</li> <li>消費生活相談員によるアウトリーチ事業（出前講座、出前授業）を積極的に実施します。</li> </ul>
<p><b>6 学習活動及びまちづくりへの参加の促進（文化生涯学習課）</b></p> <p><b>事業予算：50万円</b> &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>市民一人一人の知識や経験を生かし、地域で活躍してもらえよう、市民団体や大学、民間事業者等との連携により、各種地域デビュー事業やサークル体験事業のほか、様々な生涯学習講座を実施し、各種活動への参加のきっかけづくりを行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域デビュー事業の更なる内容の充実を図ります。</li> </ul>
<p><b>7 地区協議会の設立と支援（協働推進課）</b></p> <p><b>事業予算：898万7000円</b> &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>地区協議会は、地域コミュニティの活性化を図り、地域の連帯感を高めるとともに、地域住民と調布市が地域の課題を共に考え解決していくために、地域住民が自主的に運営するネットワーク組織です。</p> <p>小学校区域をコミュニティエリアとして、令和元年度末で17の地区協議会が設立され、様々なまちづくり活動を展開しています。</p> <p>今後、未設立の残りの3つの小学校区域に地区協議会の設立を働きかけるとともに、既設地区への支援を引き続き行います。</p> <p>その他、地区協議会相互の連携体制を構築するとともに、未設立区域での設立促進等を目的とした地域勉強会を開催します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>残りの未設立3地区（第二、深大寺、柏野）に対して地区協議会設立の機運が高まるよう更なる関係性の強化を図ります。</li> <li>設立している地区協議会に対して、地域課題解決に向けたサポートを行うほか、積極的な活動のPRなど、支援を行います。</li> <li>地区協議会相互の横の連携や、未設立区域での設立促進等を目的とした地域勉強会を開催します。</li> </ul>
<p><b>8 ちょうふ地域コミュニティサイト（ちょみっと）の活用（協働推進課）</b></p> <p><b>事業予算：938万5000円</b> &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>ちょうふ地域コミュニティサイト（ちょみっと）は、「生涯学習情報がすぐ見つかるシステム」を多様化する市民活動やライフスタイルに合わせ、より分かりやすく・より直感的に・そしてより多くの方に活用していただけるよう平成28年度に再構築し、平成29年4月に公開しました。</p> <p>生涯学習情報コーナーウェブサイト、市民活動支援センターホームページなど、点在していたイベント情報や団体情報を一括で検索するポータルサイトであり、「目的からさがす」や「地図からさがす」といった検索方法を備えることにより、より分かりやすい地域密着型の情報発信及び情報共有の中心的なサイトを目指し、運用しています。</p> <p>また、電子掲示板機能である「ちいきのけいじばん」は20小学校区ごとに設置し、簡単に投稿できる仕組みとなっています。</p> <p>ちょうふ地域コミュニティサイト（ちょみっと）の内容充実と活用促進を図るため、引き続き、トップページ機能の見直し・追加やサイトの</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>システム運営会議や連携会議を継続的に開催し、情報の共有・課題解決など検討を重ねていきます。</li> <li>連携するホームページは令和2年4月1日時点で7団体。 生涯学習情報コーナー 市民活動支援センター 男女共同参画推進センター せんがわ劇場 福祉人材育成センター 文化協会 観光協会</li> <li>災害を想定した情報発信の内</li> </ul>

<p>PR・広報に取り組みます。</p>	<p>容・機能等の追加を検討します。</p>
<p><b>9 ふれあいの家の維持管理（協働推進課）</b>  <b>事業予算：1億70万円</b> &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;      継続的に安定した施設運営を行うため、国領第二ふれあいの家の借地について、用地取得を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民が安心・快適に継続して施設を利用できるよう努めます。</li> </ul>
<p><b>10 地域福祉センターの整備（協働推進課）</b>  <b>事業予算：1億8599万9000円</b> &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;      公共建築物維持保全計画を基本として、機能の改善を図るため屋上・外壁・内装・トイレ・給排水・空調等の大規模な改修工事を入間地域福祉センターで実施します。併せて、手摺りの設置や段差解消などバリアフリー化工事を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者の安全・快適性を第一に考えた改修工事を滞りなく実施し、施設機能の回復・向上を図ります。</li> </ul>
<p><b>11 女性のための相談事業（男女共同参画推進課）</b>  <b>事業予算：520万2000円</b> &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;      相談事業において、生き方、働く女性の人生、法律、健康、仕事についての来所相談及び電話相談事業を引き続き実施します。また、参加者が共通のテーマで話すことで悩みを解決する糸口を見つけるグループ相談（ほっとサロン・しえいくはんず）を実施します。      また、相談事業とリンクした講座を開催するなど、利用者ニーズに沿った事業を展開します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 来所相談・電話相談の実施</li> <li>・ グループ相談の実施</li> <li>・ 相談事業と連携した講座等の実施</li> </ul>
<p><b>12 商店街活性化の推進（産業振興課）</b>  <b>事業予算：5660万円</b> &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;      商工会、市内事業者、商店会等と連携した商業活性化事業を展開します。      商店街の活性化に向け、商店会のイベント事業を支援することで、商店会や個店の魅力向上を図ります。      商店街の施設整備を支援するため、街路灯のLED化や電気料金、老朽化した街路灯の維持・撤去費用の一部を補助します。      中心市街地の商店会と連携した「旧道さんぽ」や「半券サービス事業」、柴崎駅・つつじヶ丘駅・仙川駅周辺の商店会と連携した「まちゼミ」の実施により、回遊性の向上や商店の魅力発信を図ります。      バイ調布運動の取組としては、商工会が実施する調布市独自の「スクラッチカード事業」を支援することで、市内消費の喚起と商業活性化、市民生活支援を図る取組を展開します。      さらに、これまで、中心市街地活性化プランに基づく、多様な主体との連携による取組を通じて創出した中心市街地をはじめとするにぎわいを市内商業の振興と商店街の活性化につなげるべく、新型コロナウイルス感染症による影響及び対策を踏まえながら、中心市街地活性化プランに代わる「（仮称）商業振興・活性化プラン」の策定準備に取り組みます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた地域経済の状況が少しでも好転するよう、商工会、市内事業者、商店会等と連携し、地域経済活性化に向けた取組を推進します。</li> <li>・ 商店会が実施するイベント事業を支援し、商業活性化を推進します。</li> <li>・ 商店街の街路灯のLED化などを支援し、商店街の買物環境の整備を促進します。</li> <li>・ 「スクラッチカード事業」を実施し、市内消費の喚起と商業活性化、市民生活支援につなげます。</li> <li>・ これまで以上に多様な主体と連携し、「集客」、「回遊」、「消費」の好循環のサイクルで市内商業の振興が図られることを目的とした、中心市街地活性化プランに代わる「（仮称）商業振興・活性化プラン」の策定準備に取り組みます。</li> </ul>
<p><b>13 魅力ある観光の振興（産業振興課）</b>  <b>事業予算：5808万円</b> &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p>	

<p>新型コロナウイルス感染症による影響を踏まえながら、にぎわいの創出に向けた効果的な観光振興を推進します。</p> <p>「映画のまち調布」の推進については、市内映画・映像関連企業・市民団体との連携を図りながら、映画・映像を「つくる」、「楽しむ」、「学ぶ」をテーマに、積極的なロケ支援、各種広告媒体を利用したPR、フィルムコミッション事業、調布市独自の事業も含め、様々な事業を展開し、引き続き、広く市民に“映画”に親しんでもらう機会を創出するとともに、「映画のまち調布」としての魅力の発信を行います。</p> <p>名誉市民水木しげるさんの功績を称えた「ゲゲゲ忌」については、引き続き開催し、「水木マンガの生まれた街」として積極的にPRします。</p> <p>ICT活用の観光推進事業については、ICT（Web、モバイルアプリ等）を活用した多言語対応の観光情報システムを活用し、調布市の魅力を発信します。</p> <p>また、観光協会とも密な連携を図り、地域経済の復興と観光振興につながる取組の一環として、観光協会事業を積極的に支援します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広く市民に“映画”に親しんでもらう機会を創出するとともに、「映画のまち調布」としての魅力の更なる向上を目指します。</li> <li>・ 「ゲゲゲ忌」を引き続き実施するとともに、水木作品の魅力を後世に伝えるための効果的な取組の検討を進めます。</li> <li>・ 観光協会をはじめとする様々な企業・団体、庁内各部署と連携し、にぎわいの創出に向けた効果的な観光振興を推進することにより、地域経済の活性化を図ります。</li> </ul>
<p><b>14 中小企業・小規模事業者の支援（産業振興課）</b></p> <p><b>事業予算：4827万3000円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</b></p> <p>中小企業・小規模事業者の経営基盤の安定と成長を支援するため、事業者が抱える課題解決に向け、商工会をはじめ、包括協定を結んでいる金融機関と連携し、きめ細かな支援に取り組みます。特に新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、経営が厳しい状況の事業者に対して、中小企業資金融資あっせん制度を拡充し、信用保証料の全額補助及び全額利子補給（当初3年間）を行うことで、経営を支援します。</p> <p>また、事業者への経営サポートとして、相談会のほか、創業支援や経営課題に関するセミナー等を開催し支援します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ニーズに応じた相談会やセミナーを開催します。</li> <li>・ 拡充内容の周知と迅速な手続きに努めます。</li> </ul>
<p><b>15 産業労働支援センターによる創業の支援（産業振興課）</b></p> <p><b>事業予算：991万円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</b></p> <p>市内での新たな創業を促進するため、経営アドバイザーによる創業・経営などの相談事業、各種セミナーや講演会の開催、スモールオフィスの貸出し、空き店舗等を活用した創業チャレンジ支援事業など、調布市内での创业者の育成を図ります。また、訪問によるきめ細かな経営アドバイスをを行うことで、中小企業・小規模事業者の経営を支援します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相談件数570件、産業労働支援センター利用者による創業件数30件を目指します。</li> <li>・ 女性及びシニア向けの創業相談の充実を図ります。</li> </ul>
<p><b>16 いきいきとした農業経営（農政課）</b></p> <p><b>事業予算：3918万8000円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</b></p> <p>認定農業者などの農業経営に意欲ある農業者が農業を継続できるよう、引き続き、都市農業育成対策事業による支援に加え、都市農地保全支援プロジェクトや都市農業活性化支援事業等による農地の保全・活用の取組を通して農業経営を支援します。</p> <p>また、市民ニーズの高い安全・安心な農産物の品質向上と供給を図るため、有機質肥料の支給による有機栽培の促進などを通じて、農業者の取組を支援します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和元年度に策定した農業振興計画の円滑な推進を図ります。</li> <li>・ 「都市農地保全支援プロジェクト」を活用し、農地の保全・活用の取組を通して農業経営を支援します。</li> <li>・ 「都市農業育成対策事業」を活用した農業支援を実施します。</li> <li>・ 「都市農業活性化支援事業」を活用し、農業経営を支援します。</li> <li>・ 有機質肥料を配布し、有機栽培の促進を図ります。</li> </ul>

<p><b>17 農のある地域づくり（農政課）</b></p> <p><b>事業予算：1327万円</b> &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>より多くの市民が市内で生産された新鮮で安全・安心で新鮮な農産物を手に入りやすくするとともに、市内における消費の拡大を図るため、市内直売所マップをより見やすい内容へ更新するほか、J A・地元商店街をはじめとする関係機関と連携し市内農産物の直売をより一層推進します。</p> <p>また、市民が農家の指導を受けながら農作業を楽しむことができる体験ファームの支援や、農作業を通じて自然に親しみながら生産の喜びを味わうことができる市民農園の確保など、市民が農業とふれあえる機会作りを推進します。</p> <p>さらに、農作物の生産から収穫までの過程や、農業の大切さを体感してもらう学童農園やふれあい体験農園の実施、調布産農産物を取り入れた学校給食の実施や消費者と生産者の交流を通じた食育の推進など、都市農業を生かした食育を推進します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業体験ファーム及び市民農園の確保に努めます。</li> <li>・ 関係機関と連携し、市内農産物の直売を促進します。</li> <li>・ 都市農業を生かした食育を推進します。</li> <li>・ 市民ふれあい体験農園や学童農園を実施し、都市農業への理解促進を図ります。</li> <li>・ 市内直売所マップを更新します。</li> </ul>
<p><b>18 農地の保全・活用（農政課）</b></p> <p><b>事業予算：2235万3000円</b> &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>都市農地保全を推進するために、防災や環境保全など農地の多面的機能を一層発揮させるための施設整備など、農地保全に意欲的に取り組む農業者及び農業団体が行う農地保全の取組に対して、ソフト・ハード両面から支援します。</p> <p>また、都市農地を保全していくため、生産緑地地区の追加指定と併せて、特定生産緑地の指定に向けた取組を進めるとともに、農業経営の支援や市民農園・農業体験ファーム等に取り組むことにより、都市農地の保全・活用に努めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定生産緑地の指定に向けた取組を進めます。</li> <li>・ 「都市農地保全支援プロジェクト」を活用し、農地の保全・活用の取組を通して農業経営を支援します。</li> </ul>
<p><b>19 スポーツ施設の整備（スポーツ振興課）</b></p> <p><b>事業予算：2億4234万2000円</b> &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>市内の各スポーツ施設について、公共建築物維持保全計画を踏まえて、市民が安全で快適に利用できるよう、老朽化に伴う施設の改修工事の実施等、施設の整備・維持管理に取り組みます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合体育館や西調布体育館の空調設備設置工事</li> <li>・ 総合体育館の特定天井及び床等改修工事</li> <li>・ 基地跡地運動広場グラウンド整備工事</li> <li>・ 大町スポーツ施設小運動場人工芝改修工事</li> <li>・ 今後の市民多摩川テニスコート施設整備に向けた隣接地の取得</li> </ul>
<p><b>20 東京2020大会等を契機としたスポーツ振興による多目的効果の創出（スポーツ振興課）</b></p> <p><b>事業予算：875万4000円</b> &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>東京2020大会開催を契機とし、都や東京都障害者スポーツ協会、競技団体や体育協会等の関係団体との連携を更に強化し、各種スポーツイベントを行う等、市民がスポーツに親しむ機会の創出を図ります。</p> <p>とりわけ、障害者スポーツ情報の積極的な広報活動や各種障害者スポーツの体験事業の実施、都や福祉・スポーツ分野の関係者による協議体</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害者スポーツ体験事業、アスリート交流事業、N T T 東日本バドミントン部地域感謝祭等の開催を、関係団体と連携して実施します。</li> </ul>



<p>を活用した事業の実施等，大会後のレガシー創出を見据えた障害者スポーツの振興に取り組みます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市内で開催される競技を中心とした競技団体との連携を積極的に図ります。</li> <li>・ 調布市障害者スポーツの振興における協議体を活用し，誰もがスポーツに親しむ機会の創出を図ります。</li> </ul>
<p><b>21 FC東京等と連携したスポーツ振興等の推進（スポーツ振興課）</b>  <b>事業予算： 260万9000円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</b>  FC東京が行うサッカー教室等の地域貢献活動に対して経費の一部を補助するなど，その活動を支援し，市のスポーツ振興・青少年の健全育成・福祉・地域振興等のまちづくりを協働で推進します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもサッカー体験教室等FC東京の地域貢献活動を支援します。</li> <li>・ FC東京との連携事業の更なる充実を図ります。</li> <li>・ 市内スポーツ団体との連携を図ります。</li> </ul>

◆生活文化スポーツ部経営の前年度（令和元年度）振り返り

<p><b>・オリンピック・パラリンピック，ラグビーワールドカップに向けた取組</b></p> <p>ラグビーワールドカップ開催年及びオリンピック・パラリンピック開催前年として，全体会議をはじめとしたオール調布体制の充実，両大会に向けたシティドレッシングやパブリックビューイングなどのカウントダウンイベントにより，両大会に向けた機運醸成を図りました。ラグビーワールドカップの大会期間中は，国内外から多くの来訪者を試合会場の東京スタジアムやファンゾーン会場の調布駅前広場にお迎えしました。また，ファンゾーンと隣接して実施したスクラムフェスティバルにおいて，市内関連団体・事業者と連携し，調布ならではのおもてなしを実施しました。</p> <p>東京2020大会に向けては，調布市内開催競技のうち4競技のテストイベント等の国際大会が市内で開催されたことから，小・中学校児童・生徒をはじめとした市民の競技観戦やボランティアによる大会運営への参画など，市民参加機会の確保に取り組むとともに，一年前イベントとして京王閣競輪場を会場にサマーフェスティバルを実施し，市内開催競技の体験や東京五輪音頭，花火観戦など，多くの市民にお楽しみいただきました。</p> <p>また，東京2020大会を契機としたスポーツ振興を図るため，調布市体育協会や各競技団体等関係団体と連携し，ジュニア陸上体験教室，小学生タグラグビー大会，障害者スポーツ体験会，FC東京×ブラインドサッカー(R)講演会等を実施するとともに，市内で開催したバレーボール国際大会や車いすバスケットボール国際大会，近代3種大会への協力等を行い，市民がスポーツをする・みる機会の創出を図りました。</p> <p>さらに，大会後も障害者スポーツの振興を図るため，障害福祉課や東京都，東京都障害者スポーツ協会と連携し，スポーツ分野と福祉分野の関係団体が一同に会し，障害者スポーツを振興するうえでの課題の抽出や解決方法を検討する場として「調布市障害者スポーツの振興における協議体」を設置し，3回実施しました。</p> <p>芸術文化における共生社会の実現を目指し，障害者理解の更なる促進を図ることを目的に「パラアート展」を引き続き開催しました。ホストタウンとしてのサウジアラビア王国については，アラビア語講座及び市民にアラビア文化を紹介する「サウジアラビア展」を開催したほか，サマーフェスティバルやスクラムフェスティバル等の機運醸成イベントにおいてサウジアラビアの留学生との交流事業等を通じて，更なる交流の促進を図りました。そのほか，文化協会をはじめとする市民団体や文化・コミュニティ振興財団，市内に拠点を置く劇団「芸優座」など多様な主体との連携により，芸術文化への市民の関心や活動の拡大，次世代のアーティストの育成，伝統文化の再認識と継承等につながるよう，各種事業を展開しました。</p>
--

## • 芸術・文化の振興

市民が芸術・文化と触れる機会の提供と自ら芸術・文化活動を行える環境を整備するため、音楽や演劇など様々な事業を実施するとともに、安全に施設を利用していただくため施設整備を行いました。

せんがわ劇場が令和元年度から、文化会館たづくり及びグリーンホールと共に、調布市文化・コミュニティ振興財団を指定管理者とする指定管理者制度へ移行したことから、3館の連携による効果的な事業の推進を図るとともに、引き続き、適切な維持保全、安全な施設運営、魅力ある事業展開などの視点から、施設管理及び事業運営を行いました。

グリーンホールについては、有識者と共に先進事例となる他自治体ホールの視察を行ったほか、これまでの取組状況等について、施設利用団体との情報共有・意見交換を実施するとともに、市の整備に関する考え方の検討に取り組みました。

## • 平和祈念の取組

令和元年度から、市内在住または在学の中学生を被爆地へ派遣し、その成果を広く市民へ還元する平和派遣事業を開始しました。派遣者の制作したメッセージボードを市内公共施設等で展示したほか、各種平和祈念事業やラグビーワールドカップ関連イベントにおいて、派遣者が参加者に向けて成果報告する機会を創出しました。

## • 生涯学習情報等の充実

生涯学習情報コーナーでの情報提供のほか、市内公共施設や民間商業施設、その他市内各種イベントなどにおいて、生涯学習まちづくり推進員のアウトリーチ（出張相談）を行うなど、より多くの方の生涯学習活動のきっかけづくりにつながるよう、積極的な情報発信を行いました。

## • 地区協議会の設立と支援

未設地区の染地小学校地区において、地域の方々と随時情報共有を行う中で機運が醸成され、17番目の地区協議会が設立されました。また、地域勉強会を地区協未設地区の方にも参加いただき実施し、地域同士の情報交換を図るとともに、設立機運の醸成に努めました。

## • ちょうふ地域コミュニティサイト（ちょみっと）の活用

平成29年4月に、生涯学習情報（団体、人材、イベント、施設）を提供するシステム「さがす見つかるシステム」から、市民活動に役立つ情報発信につながるよう、更なる利便性の向上を図るため、「ちょうふ地域コミュニティサイト（ちょみっと）」としてリニューアルし、3年目の運用となりました。「ちいきの活動レポート」の充実等により、アクセス数は前年度比増で推移しています。

## • ふれあいの家の整備

地域の防災・防犯機能の充実の観点から、新たに火災感知システムと屋外設置型のAEDを導入しました。

## • 地域福祉センターの整備

公共建築物維持保全計画を基本として、大規模な改修工事を富士見地域福祉センターで実施したほか、深大寺地域福祉センターでは、設備の老朽化に対応するため、受変電設備の改修工事を実施しました。また、次年度の施設改修を見据え入間地域福祉センターの設計委託を行いました。

## • 女性のための相談事業

生き方、働く女性の人生、法律、健康、仕事についての来所相談及び電話相談事業を実施しました。また、参加者が共通のテーマで話すことで悩みを解決する糸口を見つけるグループ相談（ほっとサロン・しえいくはんず）も実施しました。

公共施設のトイレ等に相談カレンダーを配架し、相談事業の周知に努めました。

#### ● 商店街活性化の推進

商店会が実施するイベント事業を支援するなど、商店会や個店の魅力向上の取組を支援し、市内商業の活性化に取り組みました。特に、ラグビーワールドカップの開催を契機として、開催前の準備段階から開催期間中の事業実施に至るまで、市内事業者、商店会、調布市商工会等、多様な主体と連携し、観光事業と一体となった商業活性化事業に取り組みました。

また、商店街の施設整備を支援するため、環境・防災対応型LED街路灯への建替えについて、東京都の補助制度を活用した支援など商店会の負担軽減を図りました。

その他、調布駅前広場を活用した各種イベントを開催し、中心市街地のにぎわいを創出する取組を展開しました。

#### ● 魅力ある観光の振興

昨年度はラグビーワールドカップ開催の機会を捉えて、多様な主体と連携し、インバウンド対応を含め、国内外へ調布市の魅力発信に取り組みました。また、映画・映像関連企業が集積する特徴を生かしたイベントや市内飲食店と連携したグルメイベントを開催期間中に実施し、市内の回遊性向上やにぎわいを創出することで地域経済の活性化を図りました。

映画・映像を「つくる」、「楽しむ」、「学ぶ」をテーマに高校生フィルムコンテストなど、世代に合わせた独自の事業や、他自治体と連携したフィルムコミッション事業によるロケツーリズムの推進、市内映画・映像関連企業と連携した「シネマフェスティバル」の開催など、「映画のまち調布」ならではの取組を実施しました。

また、関東屈指の古刹である深大寺周辺を活用した“和”に親しむイベントや観光PRなど、調布の地域資源を活用した魅力発信事業を展開しました。

「水木マンガの生まれた街」の取組として、名誉市民水木しげるさんの功績を称え、広く市民と偲ぶ取組である「ゲゲゲ忌」を、水木プロダクションや東映アニメーション等と連携して開催したほか、水木しげるさんの作品や世界観を後世に引き継いでいくため、有識者懇談会を開催し、広く意見交換を行いました。

#### ● プレミアム付商品券事業の実施

消費税率の引上げに伴う国の施策として、住民税非課税者及び子育て世帯を対象に、消費に与える影響の緩和と地域における消費を喚起・下支えすることを目的として、プレミアム付商品券の販売を行いました。事業の実施に当たっては、対象者の商品券の利用が促進され、市内経済の活性化につながるよう、利用可能事業所の拡充に取り組みました。

#### ● いきいきとした農業経営

都市農業育成対策事業の一環として、認定農業者と農業経営に意欲ある農業者に、農業用資材の購入、農業用機械設置等を補助し、農業が安定的に継続できるよう支援したほか、有機栽培の推進などの取組を支援しました。

#### ● スポーツ施設の整備

市内の各スポーツ施設について、公共建築物維持保全計画を踏まえ市民が安全で快適に利用できるよう、市民プールのトイレ改修工事や多摩川テニスコートクラブハウス及び西調布体育館トイレ等改修工事、調布基地跡地運動広場内トイレ改築ほか工事等を実施し、施設の整備・維持管理に取り組みました。

また、台風19号の影響により被害を受けた多摩川児童公園内運動施設について、予備費の充当によりグラウンド修繕、バックネット修繕、防球ネットほか修繕を実施しました。

● **東京2020大会等を契機としたスポーツ振興による多面的効果の創出**

ラグビーワールドカップに向けて、ちょうふスクラムフェスティバルVol.5を開催し、多くの方にラグビーに親しむ機会を創出し、機運醸成を図りました。

東京2020大会を契機としたスポーツ振興を図るため、調布市体育協会や各競技団体等関係団体と連携し、ジュニア陸上体験教室、小学生タグラグビー大会、障害者スポーツ体験会、FC東京×ブラインドサッカー(R)講演会等を実施するとともに、市内で開催したバレーボール国際大会や車いすバスケットボール国際大会、近代3種大会への協力等を行い、市民がスポーツをする・みる機会の創出を図りました。

また、大会後も障害者スポーツの振興を図るため、障害福祉課や東京都、東京都障害者スポーツ協会と連携し、スポーツ分野と福祉分野の関係団体が一同に会し、障害者スポーツを振興する上での課題の抽出や解決方法を検討する場として「調布市障害者スポーツの振興における協議体」を設置し、3回実施しました。

● **FC東京等と連携したスポーツ振興等の推進**

市民がスポーツに親しむ機会を創出するため、「調布市FC東京と連携したまちづくり等の推進に関するプロジェクト・チーム」の活用や、FC東京と庁内関係部署との情報交換会を開催し、FC東京とのパートナーシップに基づく連携事業をスポーツ分野のみならず、青少年の健全育成、福祉地域振興等の様々な分野で実施しました。

また、読売巨人軍との共催事業の実施や、そのほか各種スポーツ団体とも協力して事業を実施しました。

◆ **前年度の主要な事務事業の取組状況等**

事業の名称と取組内容	達成状況・課題等
<p><b>1 オリンピック・パラリンピック、ラグビーワールドカップに向けた取組（オリンピック・パラリンピック担当）</b></p> <p><b>決算見込額：8000万円 &lt;基本計画事業 行革P <u>その他</u>&gt;</b></p> <p>ラグビーワールドカップ開催に伴い、東京スタジアム最寄りの飛田給だけでなくファンゾーンが開催された調布駅前広場にも国内外から多くの方に訪れていただきました。大会期間中、来訪者のおもてなしと市民の参加機会の確保のため、ファンゾーンと併設して調布スクラムフェスティバルを開催し、市内団体・市内事業者と協力の下、調布ならではのおもてなしを展開しました。また、スタジアム内においても、ホストシティパフォーマンスとして、市関連団体によるよさこいや和太鼓演奏の披露など、多くの観客にお楽しみいただきました。</p> <p>東京2020大会に向けては、テストイベントや車いすバスケットボールの国際親善試合など市内で開催される多くの国際大会においても、小・中学校児童・生徒をはじめとした市民の観戦機会の確保やボランティアとしての参加など、多くの市民に参加の機会を提供しました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ラグビーワールドカップ関連 日本代表テストマッチパブリックビューイング、府中調布三鷹ラグビーフェスティバル、大会期間中のファンゾーン及びスクラムフェスティバル、シティドレッシング</li> <li>・ 東京2020大会関連事業 テストイベント等（近代五種、自転車ロードレース、バドミントン、車いすバスケットボール）、サマーフェスティバル、</li> <li>・ その他 日本車いすバスケットボール連盟との相互協力協定締結、多摩26市3町連携事業東京都町村ボッチャ大会の開催</li> </ul>
<p><b>2 芸術・文化の振興（文化生涯学習課）</b></p> <p><b>決算見込額：13億4447万2000円 &lt;基本計画事業 行革P <u>その他</u>&gt;</b></p> <p>市民が芸術・文化と触れる機会の提供と自ら芸術・文化活動を行える環境を整備するため、音楽や演劇など様々な事業を実施するとともに、</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設維持保全工事等を計画的に実施しました。</li> </ul>

<p>安全に施設を利用していただくため施設整備を行いました。</p> <p>せんがわ劇場が調布市文化・コミュニティ振興財団を指定管理者とする指定管理者制度へ移行したことから、文化会館たづくり及びグリーンホールと共に、3館の連携による効果的な事業の推進、魅力ある事業展開を図りました。</p> <p>グリーンホールについては、建替えに向けて有識者と共に他自治体ホールの視察を行ったほか、これまでの取組状況等について、施設利用団体との情報共有・意見交換を実施しました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ グリーンホールの建替えに向けて、他自治体ホールの視察や施設利用団体との情報共有・意見交換を実施しました。</li> <li>・ パラアート展 入場者1063人</li> </ul>
<p><b>3 平和・国際交流施策の推進（文化生涯学習課）</b></p> <p style="text-align: center;"><b>決算見込額：2583万円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</b></p> <p>戦争体験者の高齢化が進行する中、若い世代へ戦争体験を引き継いでいくことが重要です。そのため引き続き、戦争体験者の映像記録DVDを作製するとともに、小・中学校へ戦争体験者の記録等の情報提供を行い、平和について考える機会の提供に努めました。</p> <p>また、市内在住または在学の中学生を被爆地である広島へ派遣し、その成果を広く市民へ還元する広島平和派遣事業を実施しました。様々な場面を捉えて、派遣者の発表や制作物の展示を行いました。</p> <p>国際交流の促進においては、国際交流協会が行う交流事業をはじめ、ホストタウンとなっているサウジアラビアとの交流事業として、アラビア語講座やサウジアラビア文化展を実施しました。また、小学生英語体験事業は、実践的な内容とするため、国際交流協会と連携し、競技会場までの道案内を想定したフィールドワーク等を含む、より実践的な内容として市内で実施しました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広島平和派遣 派遣者12人</li> <li>・ 原爆展 入場者761人</li> <li>・ 神田さち子一人芝居 入場者400人</li> <li>・ 小学生英語体験事業 参加29人</li> <li>・ ホストタウンの取組 アラビア語講座 フリークラス延べ66人 単独クラス延べ67人 サウジアラビア文化展 入場者 展示783人 講演会112人 調理体験15人</li> </ul>
<p><b>4 消費生活の安定と向上（文化生涯学習課）</b></p> <p style="text-align: center;"><b>決算見込額：1211万2000円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</b></p> <p>市民が安心して消費生活が送れるよう、調布市消費生活センター条例に基づき消費者トラブルの情報提供や、消費生活相談員のスキル向上を図るとともに、弁護士を配置し消費者トラブルの解決に向けた支援をしました。</p> <p>また、より多くの潜在的被害者を救済するため、関係部署と連携を図りながら、消費生活センターの周知を行いました。</p> <p>さらに、消費者教育推進法に基づき、各年代に応じた各種消費者講座を実施しました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域団体等の実施形態を柔軟に対応し、消費者講座、出前講座を実施しました。</li> <li>・ 消費者講座 8回 受講者数計183人</li> <li>・ 出前講座 18回 参加者数計1089人</li> </ul>
<p><b>5 シニア世代の学習活動及びまちづくりへの参加の促進（文化生涯学習課）</b></p> <p style="text-align: center;"><b>決算見込額：50万円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</b></p> <p>地域デビュー事業では、調布に住むシニア世代の地域活動への参加を後押しすべく、地域デビュー推進委員会と連携し、「地域デビュー歓迎会」をはじめ、新たに開催した連続講座「セカンドライフ応援講座」など様々な企画を実施しました。</p> <p>また、「体験サークル in みんなの広場」では、地域デビュー推進委員と連携し、地域活動へ参加したい方へのサークル体験を通じたきっかけづくりの相談を行うとともに、サークルにとっては新規会員募集の場となり、双方メリットのある取組となりました。</p> <p>サークル体験事業では、多様な学習活動のきっかけづくりに努めると</p>	<p>【参加者数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域デビュー歓迎会 71人</li> <li>・ 調布再発見バス&amp;徒歩ツアー 55人</li> <li>・ 男の料理教室 24人</li> <li>・ 地域ボランティアデビューしませんか 20人</li> <li>・ サークルデビューしませんか 66人</li> </ul>

<p>ともに、サークルの会員数の増加や団体の活性化にもつながりました。</p> <p>また、令和元年度は地域デビュー推進委員会が「生涯学習サークル体験発表コンサート・展示会」を企画し、関連企画として新たに「サークルデビューしませんか？」を立ち上げ、地域デビュー事業とサークル事業の連携を強化することで、効果的な事業展開を図りました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セカンドライフ応援講座 延べ167人</li> <li>・体験サークル in みんなの広場 42人</li> <li>・生涯学習サークル体験コンサート 330人</li> </ul>
<p><b>6 地区協議会の設立と支援（協働推進課）</b></p> <p><b>決算見込額：876万6000円</b> &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>地区協議会は、地域コミュニティの活性化を図り、地域の連帯感を高めるとともに、地域住民と調布市が地域の課題を共に考え解決していくために、地域住民が自主的に運営するネットワーク組織です。</p> <p>小学校区域をコミュニティエリアとして、令和元年度末で17の地区協議会が設立され、様々なまちづくり活動を展開しています。</p> <p>未設立の4地区に設立の働きかけを行う中で、染地小学校地区において17番目となる地区協議会が設立されました。</p> <p>また、既設地区への支援を引き続き行うとともに、地区協議会相互の連携推進や、未設立区域での設立促進等を目的とした地域勉強会を開催しました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未設立の4地区（第二，染地，深大寺，柏野）に対して設立の機運が高まるよう働きかけを行う中で、染地小地区において17番目の地区協議会が設立されました。</li> <li>・設立している地区協議会に対して、地域課題解決に向けたサポートを行うほか、積極的な活動のPRなど、支援を行いました。</li> <li>・地区協議会相互の連携促進や、未設立区域での設立促進等を目的とした地域勉強会を開催しました。</li> </ul>
<p><b>7 ちょうふ地域コミュニティサイト（ちょみっと）の活用（協働推進課・文化生涯学習課）</b></p> <p><b>決算見込額：930万2000円</b> &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>ちょうふ地域コミュニティサイト（ちょみっと）は、「生涯学習情報がすぐ見つかるシステム」を多様化する市民活動やライフスタイルに合わせ、「より分かりやすく・より直感的に・そしてより多くの方に」活用していただけるよう平成28年度に再構築し、平成29年4月に公開しました。</p> <p>このサイトは、生涯学習情報コーナーウェブサイト、市民活動支援センターホームページなど、点在していたイベント情報や団体情報を一括で検索するポータルサイトであり、「目的からさがす」や「地図からさがす」といった検索方法を備えることにより、より分かりやすい地域密着型の情報発信及び情報共有の中心的なサイトを目指し、運用しています。</p> <p>また、電子掲示板機能である「ちいきのけいじばん」は20小学校区ごとに設置し、簡単に投稿できる仕組みとなっています。</p> <p>ちょうふ地域コミュニティサイト（ちょみっと）の内容充実と活用促進を図るため、「ちいきのけいじばん」の運用改善やサイトのPRを行うほか、市ホームページとの連携等「地域の活動レポート」の充実に取り組みました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サイトを協働で運営するNPO法人調布市地域情報化コンソーシアム（CLIC）及び共管する文化生涯学習課と月に1回のシステム運営会議を実施するほか、年に1回、サイト連携における関連団体等と連携会議を実施し、「利便性の高いサイトに向けたシステム改善」、「活用促進・普及啓発」などに関して、情報の共有・課題解決など検討を重ねました。</li> <li>・連携会議への参加は、令和元年度は下記の7サイトに関連する団体。 生涯学習情報コーナー 市民活動支援センター 男女共同参画推進センター せんがわ劇場 福祉人材育成センター 文化協会 観光協会</li> </ul>

<p><b>8 ふれあいの家の整備（協働推進課）</b></p> <p><b>決算見込額：352万3000円</b> &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>施設の機能回復を図るため、適宜修繕を実施するとともに、地域の防災・防犯機能の充実の観点から、新たに火災感知システム並びに屋外設置型のAEDを導入しました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者の安全・快適性を第一に考えた修繕や、施設機能の向上を図りました。</li> </ul>
<p><b>9 地域福祉センターの整備（協働推進課）</b></p> <p><b>決算見込額：5790万6000円</b> &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>公共建築物維持保全計画を基本として、機能の改善を図るため給排水管、衛生、電気設備、空調等の大規模改修工事のほか、施設のバリアフリー化を推進するため、手摺りの設置等の施設改修を富士見地域福祉センターで実施しました。また、深大寺地域福祉センターでは、設備の老朽化に対応するため、受変電設備の改修工事を行いました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者の安全・快適性を第一に考えた改修工事を滞りなく実施し、施設機能の回復・向上を図りました。</li> </ul>
<p><b>10 女性のための相談事業（男女共同参画推進課）</b></p> <p><b>決算見込額：508万1000円</b> &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>相談事業において、生き方、働く女性の人生、法律、健康、仕事についての来所相談及び電話相談事業を引き続き実施しました。</p> <p>また、参加者が共通のテーマで話すことで悩みを解決する糸口を見つけるグループ相談事業を実施しました。</p> <p>公共施設等に相談カレンダーを配架し、相談事業の周知に努めました。</p>	<p><b>【個別相談件数】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生きかた相談 376件（電話相談含む）</li> <li>・ 働く女性の人生相談 28件</li> <li>・ 法律相談 119件</li> <li>・ 仕事&amp;生活サポート相談 45件</li> <li>・ ヘルスケア相談 22件</li> </ul> <p><b>【グループ相談（ほっとサロン・しえいくはんず）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実施回数：19回</li> <li>・ 累計参加者数：175人</li> </ul>
<p><b>11 商店街活性化の推進（産業振興課）</b></p> <p><b>決算見込額：3492万円</b> &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>商店会や個店の魅力向上を図り、市内商業の活性化につなげることを目的に、商店会が実施するイベント事業の支援や、市内事業者、商店会、調布市商工会と連携した商業活性化事業を展開しました。</p> <p>また、ラグビーワールドカップの開催を契機として、インバウンド対応を含めた観光振興と一体となった事業に、多様な主体と連携して取り組みました。</p> <p>その他、商店街の施設整備を支援するため、環境対応型LED街路灯への建替えについて、東京都の補助制度を活用した支援のほか、老朽化した街路灯の撤去費用の補助など商店会の負担軽減を図りました。</p> <p>にぎわいや回遊性の向上を目的に、商店会との連携事業である「調布まちゼミ」を継続的に開催しました。</p> <p>市内消費の喚起と商業活性化、市民生活支援を図るため、バイ調布運動の取組として、商工会と連携し、調布市独自の「スクラッチカード事業」を実施しました。</p> <p>さらに、トリエ京王調布の開業を契機とした中心市街地のにぎわいをその他の地域にも波及させるため、商工会や商店会のほか、大型商業施設などとの定期的な会議を持ちながら、効果的な事業を実施するとともに、中心市街地活性化プランに代わる新たな計画の策定準備に取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 商店会が実施するイベント事業を支援し、商業活性化を推進しました。</li> <li>・ 商店街の街路灯のLED化などを支援し、商店街の買物環境の整備を促進しました。</li> <li>・ 「スクラッチカード事業」を実施し、市内消費の喚起や商業活性化、市民生活支援を推進しました。</li> <li>・ 「調布市中心市街地活性化プラン」に基づく活性化事業を推進するとともに、中心市街地のにぎわいをその他の地域にも波及させるため、中心市街地活性化プランに代わる計画の策定準備に取り組みました。</li> </ul>

<p>ました。</p> <p><b>12 魅力ある観光の振興（産業振興課）</b></p> <p><b>決算見込額：7709万2000円 &lt;基本計画事業 行革P その他 &gt;</b></p> <p>ラグビーワールドカップの開催を契機とした取組として、インバウンド対応を含めた効果的な観光情報の発信に取り組むとともに、デカ盛りウォークラリーや Oh!!辛チャレンジなどのグルメイベントや映画・映像関連企業と連携した和のおもてなしイベントを開催するなど、多様な主体と連携して商業・観光振興による地域経済の活性化に取り組みました。</p> <p>「映画のまち調布」の推進については、市内映画・映像関連企業・市民団体との連携を図りながら、映画・映像を「つくる」、「楽しむ」、「学ぶ」をテーマに、積極的なロケ支援によるロケツーリズムの推進や、「シネマフェスティバル」の開催、各世代に合わせた映画事業の実施など、広く市民に“映画”に親しんでもらう機会を創出しました。</p> <p>「水木マンガの生まれた街」の推進については、名誉市民水木しげるさんの功績を称えた「ゲゲゲ忌」を発展的に開催するとともに、水木しげるさんの作品や世界観を後世に引き継ぐための方策について、有識者懇談会を開催し、意見交換を行いました。</p> <p>ICT活用の観光推進事業については、ICT（Web、モバイルアプリ等）を活用した多言語対応の観光情報システムの構築や情報発信ツールの作成に取り組みました。</p> <p>その他、地域資源を活用したにぎわいを創出するため、調布市観光協会事業の更なる充実のために支援や協力を行うとともに、深大寺においても各種イベント事業を実施、協力など行い、観光振興に努めました。</p> <p>調布花火は、ラグビーワールドカップの開催期間を避け、9月7日に開催しました。</p> <p>市民や各種団体との連携強化を目的に、調布市観光協会の組織強化について、理事による検討会を継続的に開催するなど、観光協会を支援しました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ラグビーワールドカップ開催を契機としたまちなぎわいの創出に取り組みました。（回遊性のあるグルメイベントや和のおもてなしイベントの開催など）</li> <li>・ 3市町連携によるロケツーリズムを推進しました。</li> <li>・ 市内映画・映像関連企業と連携した映画イベント、パッケージ化したフィルムコミッション事業、関連資料の収集、展示などの開催を行いました。</li> <li>・ 市民・事業者等の映画・映像イベント開催への支援に取り組みました。</li> <li>・ SNS等を積極的に利用した魅力的な情報の効果的な発信に取り組みました。</li> <li>・ 調布花火を開催しました。(9/7)</li> <li>・ 調布市観光協会の推進体制の構築を図るための検討を支援しました。</li> </ul>
<p><b>13 プレミアム付商品券事業の実施（産業振興課）</b></p> <p><b>決算見込額：1億854万円（事務費のみ）</b></p> <p style="text-align: center;"><b>&lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</b></p> <p>消費税・地方消費税の10%への引上げに伴う令和元年度限定の国の施策として、住民税非課税者及び子育て世帯を対象に、税率の引上げが対象者の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起・下支えするため、市内店舗等のみで使用できるプレミアム付商品券を販売しました。商品券については、対象者1人当たり2万5千円の商品券を2万円（プレミアム分5千円）で販売することとし、令和元年10月1日からの販売・使用を行いました。</p> <p>事業の実施に当たっては、商品券のプレミアム分である事業費のほか、事業の事務処理や商品券の発行、コールセンターの開設、換金処理などの事務経費についても国の補助制度を活用するとともに、市内経済の活性化につながるよう対象者への周知、市内事業者への働きかけを行いました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対象者数 約39000人</li> <li>・ 商品券販売期間 令和元年10月1日～令和2年1月31日</li> <li>・ 商品券使用期間 令和元年10月1日～令和2年2月29日</li> <li>・ 商品券販売冊数 約6500冊（1冊5千円分）</li> </ul>



<p><b>14 産業労働支援センターによる新たな創業の支援（産業振興課）</b>  <b>決算見込額：822万8000円</b> &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;  市内での創業を促す取組として、相談会・創活塾（創業塾）等セミナーの充実を図りました。  市内の特定創業支援機関と連携して、近隣市の事業者も加えた創業者交流会を実施することで、市内における創業者の人的交流や結びつきを強化しました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相談件数：552件（暫定値）</li> <li>・ センター利用者による創業件数：10件</li> <li>・ よろず経営相談：32件（含電話相談）</li> <li>・ 創業者支援交流会：1回</li> </ul>
<p><b>15 いきいきとした農業経営（農政課）</b>  <b>決算見込額：2017万7000円</b> &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;  都市農業育成対策事業を活用して、認定農業者と農業経営に意欲ある農業者に農業用資材の購入、農業用機械設置等の経費を補助することにより、農業を安定的に継続できるよう支援しました。  市民ニーズの高い安全・安心な農産物の品質の向上と供給を図るため、有機栽培の推進などの取組を支援し、有機栽培を行う農家に有機質肥料を配布しました。  都市農地保全支援プロジェクトでは、畑の土砂流出を防ぐ土留めの設置や、農薬散布時の飛散を防ぐ防薬シャッターの設置等、地域環境に配慮する取組を支援しました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3件（3名）の認定農業者を認定し、都市農業の経営力強化を図りました。</li> <li>・ 都市農業育成対策事業を活用した支援を実施しました。</li> <li>・ 有機栽培を行う農家102戸に、有機質肥料（3789袋）を配付しました。</li> </ul>
<p><b>16 農のある地域づくり（農政課）</b>  <b>決算見込額：1226万6000円</b> &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;  市内で生産された新鮮で安全・安心な市内産農産物の消費拡大をより多くの市民に図るため、J Aマインズ等の関係機関と連携して市内産農産物の直売を促進しました。  また、農作業を通じて自然に親しみながら生産の喜びを味わえる市民農園を確保するほか、農家の指導を受けながら農作業を楽しむことができる農業体験ファームの拡充を図ることにより、市民が農業とふれあえる機会づくりに取り組みました。  さらに、農産物の収穫までの過程を体験することによって、農業の大切さを実感できる学童農園やふれあい体験農園を実施し、生産者との交流を通して食育を推進しました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業体験ファーム及び市民農園の確保に努めました。</li> <li>・ 都市農業育成対策事業を活用した支援を実施しました。</li> <li>・ 有機質肥料を配付し、有機栽培の促進を図りました。</li> <li>・ 市民ふれあい体験農園や学童農園を実施し、都市農業への理解促進を図りました。</li> </ul>
<p><b>17 農地の保全・活用（農政課）</b>  <b>決算見込額：1878万4000円</b> &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;  都市農地保全を推進するために、防災や環境保全など農地の多面的機能を一層発揮させるための施設整備など、農地保全に意欲的に取り組む農業者及び農業団体が行う農地保全の取組に対して、ソフト・ハード両面から支援しました。  また、都市農地を保全していくため、生産緑地地区の追加指定と併せて、特定生産緑地の指定に向けた取組を進めるとともに、農業経営の支援や市民農園の運営、農業体験ファームの拡充に取り組むことにより、都市農地の保全・活用に努めました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定生産緑地の指定に向けた取組を進めました。</li> <li>・ 「都市農地保全支援プロジェクト」を活用し、農地の保全・活用の取組を通して農業経営を支援しました。</li> </ul>
<p><b>18 スポーツ施設の整備（スポーツ振興課）</b>  <b>決算見込額：2億3650万9000円</b> &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;  市内の各スポーツ施設について、公共建築物維持保全計画を踏まえて、市民が安全で快適に利用できるよう、老朽化に伴う施設の改修工事</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民プールトイレ改修工事</li> <li>・ 多摩川テニスコートクラブハウ</li> </ul>

<p>の実施等，施設の整備・維持管理に取り組みました。</p>	<p>ス及び西調布体育館トイレ等改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合体育館体育室床及び照明設備改修工事設計業務委託</li> <li>・ 緑ヶ丘テニスコートクラブハウス電気設備改修工事</li> <li>・ 調布基地跡地運動広場内トイレ改築ほか工事</li> <li>・ 総合体育館上水用ポンプ更新工事</li> <li>・ 総合体育館雑用水用ポンプ更新工事</li> <li>・ 多摩川児童公園内運動施設グラウンド修繕・バックネット修繕・防球ネットほか修繕</li> </ul>
<p><b>19 東京2020大会等を契機としたスポーツ振興による多面的効果の創出（スポーツ振興課）</b></p> <p><b>決算見込額：525万4000円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</b></p> <p>ラグビーワールドカップに向け，ちょうふスクラムフェスティバル Vol.5を開催し，多くの方にラグビーに親しむ機会を創出し，機運醸成を図りました。</p> <p>東京2020大会開催を契機とし，都や東京都障害者スポーツ協会，競技団体や体育協会等の関係団体と連携し，各種スポーツイベントを行う等，市民がスポーツに親しむ機会の創出を図りました。</p> <p>とりわけ，障害者スポーツ情報の積極的な広報活動や各種障害者スポーツの体験事業の実施，都や福祉・スポーツ分野の関係者による協議体の設置等，大会後のレガシー創出を見据えた障害者スポーツの振興に取り組みました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ジュニア陸上体験教室，小学生タグラグビー大会，障害者スポーツ体験会，FC東京×ブラインドサッカー（R）講演会等を開催しました。</li> <li>・ 市内で開催したバレーボール国際大会や車いすバスケットボール国際大会，近代三種大会への協力等を行い，市民がスポーツをする・みる機会の創出を図りました。</li> <li>・ 障害福祉課や都等と連携し，スポーツ分野と福祉分野の関係者が共生社会の実現に向けた課題整理や情報の提供・共有する場「調布市障害者スポーツの振興における協議体」を設置し，3回の会議を実施しました。</li> </ul>
<p><b>20 FC東京等と連携したスポーツ振興等の推進（スポーツ振興課）</b></p> <p><b>決算見込額：260万9000円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</b></p> <p>FC東京が行うサッカー教室等の地域貢献活動に対して経費の一部を補助するなど，その活動を支援し，市のスポーツ振興・青少年の健全育成・福祉・地域振興等のまちづくりを協働で推進しました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもサッカー体験教室等FC東京の地域貢献活動を支援しました。</li> <li>・ 拓殖大学陸上競技部等，市内スポーツ団体との連携を図りました。</li> </ul>